

【東日本大震災時の主な緊急・復旧支援/復興支援について】

■義援金■

支援年月日	支援先	金額	支援内容の詳細
2011年3月	ジャパンプラットフォーム(救済活動団体)	50,000,000円	使途:NPO等への支援活動資金
2011年3月	被災地の対策本部(福島県)	50,000,000円	使途:県の復興事業資金
2011年3月	被災地の対策本部(岩手県)	50,000,000円	使途:県の復興事業資金
2011年3月	被災地の対策本部(宮城県)	50,000,000円	使途:県の復興事業資金
2011年3月	ジャパンプラットフォーム(救済活動団体)	5,000,000円	リコー社会貢献クラブ・FreeWill 使途:NPO等への支援活動資金
2011年3月	日本赤十字社	5,000,000円	リコーリース 株主優待の選択制変更に伴う関連事務経費削減分を義援金とした 使途:被災地の医療活動資金
2011年4月 ~2012年3月	ジャパンプラットフォーム(救済活動団体)	10,678,300円	リコーリース 新規リース契約1件毎に100円を義援金とした(2012年1月迄の実績) 使途:NPO等への支援活動資金
2011年7月	ジャパンプラットフォーム(救済活動団体)	550,000円	リコーリース 社内利用の中古PCを社内販売し売上金を全額義援金とした 使途:NPO等への支援活動資金

■支援物資の提供と運送■

支援年月日	支援先	支援物資の詳細
2011年3月	福島県、宮城県、岩手県(支援活動先へ配布)	防塵・防水デジタルカメラ等 1000台(G700×950個、GPS機能付G700SE×50台)
2011年3月	福島県、宮城県、岩手県(支援活動先へ配布)	バッテリー稼動式GJプリンター等 65台(ipsioGX e5500×50台、ipsioGX e7700×5台、 ipsio3000FS×10台、バッテリー×100台)

■事業に関する支援■

支援年月日	施策	詳細
2011年3月 ~9月	被災した製品等の修理の特別対応	カメラ、保守契約のオフィス機器、IT機器の特別料金
2011年3月 ~6月	クラウド型グループウェアサービスの初期費用と3ヵ月無償提供	リコーITソリューションズ「JobMagic」
2011年3月	LPガスのインフラ復旧支援	リコーエレメックスが販売事業者を支援
2011年11月	東北リユースセンター喜多方の開設	リコーテクノシステムズが運営し、リコージャパンがリユース機を貸出
2011年12月	オフィス復興支援パック	リコージャパン 通常の1/6料金で提供

■CSRにおける支援■

支援年月日	支援先	支援内容の詳細
2011年3月 ~4月	青年会議所の支援先である福島県、宮城県、岩手県の地方自治体	リコーロジスティクス 青年会議所の集積場所の提供と支援物資の運送
2011年4月 ~5月	経団連の指定する福島県、宮城県、岩手県の地方自治体	経団連主催「企業人による被災地ボランティアプログラム」に32名参加
2011年4月	(福島県)双葉町(埼玉県避難所)	MFPとネットワーク環境支援(地元新聞等の情報収集)
2011年6月 ~現在	(宮城県)東松島町市、(岩手県)陸前高田市・釜石市・大槌町	巡回型情報プリントサービス(固定12箇所も含む)
2011年7月 ~8月	(宮城県)石巻市で1回、東松島市で2回	サイエンス・キャラバンを3回実施し、延べ459名の子供たちが参加
2011年8月 ~現在	(岩手県)陸前高田市、(宮城県)南三陸町・女川町	セーブ・ザ・メモリー プロジェクト(ファクトリー2ヶ所、センター3ヶ所)
2011年8月	(岩手県)陸前高田市	学生復興会議の開催/ 協力: 日本科学未来館
2011年8月 ~9月	(岩手県)陸前高田市	瓦礫撤去等の活動にグループ社員が約90名参加
2012年5月 ~6月	(宮城県)南三陸町	新入社員研修で183名が2班に分れ、漁業復興支援活動を実施(各3泊4日)
2012年5月 ~現在	(宮城県)亘理町	セーブ・ザ・メモリー サービスパッケージの提供開始
2012年6月 ~現在	(福島県)南相馬市	南相馬市がセーブ・ザ・メモリー サービスパッケージを導入
2012年8月 ~現在	(岩手県)陸前高田市、(宮城県)南三陸町・女川町	被災地で回収された写真の検索に顔認証技術を導入

■その他の支援■

2011年4月 ~7月	ニューヨークのエコ看板での応援メッセージ掲載	屋外看板で米国赤十字社へのQRコードを掲載し、募金の呼びかけを実施
----------------	------------------------	-----------------------------------